三目並べ詳細仕様書

Iチームメンバー

杉友泰宣　藤井健

目次

[1. 概要 4](#_Toc168307210)

[2. 画面遷移図 4](#_Toc168307211)

[3. システム機能フロー図 5](#_Toc168307212)

[3.1 フロー説明 5](#_Toc168307213)

[3.1.1 [盤面を初期化] 5](#_Toc168307214)

[3.1.2 [3×3のマスと先後を画面出力] 5](#_Toc168307215)

[3.1.3 [縦横のマス数を入力] 6](#_Toc168307216)

[3.1.4 [入力した値は規定値内か] 6](#_Toc168307217)

[3.1.5 [既に入力されていないか] 6](#_Toc168307218)

[3.1.6 [三目並べの画面のマスに「o」「x」を出力] 6](#_Toc168307219)

[3.1.7 [一直線がすべて「o」、または「x」ですか] 7](#_Toc168307220)

[3.1.8 [出力したのは9回目ですか] 7](#_Toc168307221)

[3.1.9 [結果を出力] 7](#_Toc168307222)

[3.1.10 [もう一度遊びますか] 7](#_Toc168307223)

[4. ファイル構成図 9](#_Toc168307224)

[5. 機能構成 9](#_Toc168307225)

[5.1 tic\_tac\_toe.c 9](#_Toc168307226)

[5.2 game\_ready.c 11](#_Toc168307227)

[InitSquare()関数 11](#_Toc168307228)

[PreScreen()関数 12](#_Toc168307229)

[5.3 get\_input.c 12](#_Toc168307230)

[SquareNumber()関数 12](#_Toc168307231)

[NumRange()関数 12](#_Toc168307232)

[MarkChecker()関数 13](#_Toc168307233)

[5.4 get\_output.c 13](#_Toc168307234)

[PrintMark()関数 13](#_Toc168307235)

[Bingo()関数 13](#_Toc168307236)

[SquareFull()関数 14](#_Toc168307237)

[5.5 get\_result.c 14](#_Toc168307238)

[GameResult()関数 14](#_Toc168307239)

[PlayAgain()関数 15](#_Toc168307240)

[5.6 define.h 15](#_Toc168307241)

[真か偽を表す列挙型 15](#_Toc168307242)

[三目並べの続行を表す列挙型 15](#_Toc168307243)

[勝利を表す列挙型 15](#_Toc168307244)

[マスが埋まっているかを表すためのマクロ定義 15](#_Toc168307245)

# 概要

本詳細仕様書は、二人のプレイヤーが交互に縦横それぞれ1～3の数字を入力し、マスに「o」または「x」を出力する三目並べの詳細を示すものである。

# 画面遷移図

ダイアグラム

自動的に生成された説明

# システム機能フロー図

グラフ, ダイアグラム

自動的に生成された説明

### フロー説明

#### [盤面を初期化]

3×3のマスをすべて空白にし、[3.1.2](#_[先攻後攻をランダムで決定])に移行する。

#### [3×3のマスと先後を画面出力]

「o」「x」を出力するための3×3のマスと、先攻後攻と「o」「x」が出力し、[3.1.3](#_[縦横のマス数を入力])へ移行する。

ダイアグラム

自動的に生成された説明

#### [縦横のマス数を入力]

「o」「x」を出力した回数をもとに、（〇or×）の番です。と出力し

縦の値を半角で1～3の整数値で入力してください：

横の値を半角で1～3の整数値で入力してください：を出力し、プレイヤーが数値を入力する。

#### [入力した値は規定値内か]

[3.1.3](#_[縦横のマス数を入力])で入力した数値が1～3の内の半角整数値であるかを判別し、1～3以内の半角整数値でなければ半角で1～3の以内の整数値を入力してください。を出力し、[3.1.3](#_[縦横のマス数を入力])に移行し、1～3以内であれば[3.1.5](#_[既に入力されていないか])に移行する。

#### [既に入力されていないか]

入力した数値の位置が既に埋まっていないかを判別し、入力されているなら入力済みのマスです。他のマスを選んでください。を出力し[3.1.3](#_[縦横のマス数を入力])に移行し、入力されてなければ[3.1.6](#_[「〇」「×」を交互に出力])に移行する。

#### [三目並べの画面のマスに「o」「x」を出力]

三目並べの画面のマスに「o」「x」を出力した回数をもとに、偶数回数は「o」、奇数回数は「x」を出力し、[3.1.7](#_[一直線がすべて「〇」、または「×」ですか])に移行する。

ダイアグラム

中程度の精度で自動的に生成された説明

#### [一直線がすべて「o」、または「x」ですか]

縦、横、斜めのいずれかに三つの「o」もしくは「x」が並んでいるかを判別し、並んでいなければ[3.1.8](#_[出力したのは9回目ですか])に移行し、並んでいれば[3.1.9](#_[勝ったプレイヤー名を出力])に移行する。

#### [出力したのは9回目ですか]

「o」と「x」が3×3のマス全てが埋まってあるかを判別し埋まってなければ[3.1.3](#_[縦横のマス数を入力])に移行し、埋まっていれば[3.1.9](#_[結果を出力])に移行する。

#### [結果を出力]

「o」が勝利した場合、「〇」が勝ちました！

「x」が勝利した場合、「×」が勝ちました！を出力し、[3.1.10](#_[もう一度遊びますか])に移行する。

引き分けだった場合、引き分けでした。を出力し、[3.1.10](#_[もう一度遊びますか])に移行する。

#### [もう一度遊びますか]

もう一度遊ぶ…0／やめる…0以外を出力する。

0を入力で「もう一度遊ぶ」、0以外を入力で「やめる」を選択する。

0を選択すると、[3.1.1](#_[プレイヤー名を入力])に移行する。

0以外を選択すると、ゲームを終わる。

# ファイル構成図

テーブル

自動的に生成された説明

# 機能構成

## tic\_tac\_toe.c

tic\_tac\_toe.cはmain関数を記述するファイルである。

出力した回数をカウントする変数の宣言。

縦横の値を入力する要素数２の一次元配列を宣言。

「o」「x」を出力する各要素数3の二次元配列を宣言。

入力した数値が範囲内かどうかの判定結果を格納する変数を宣言。

入力した数値のマスが既に入力されているかどうかの判定結果を格納する変数を宣言。

三目並べの続行の判定結果を格納する変数の初期値CONTINUEを宣言。

三目並べの終了が出力されるまで回すループ

勝ち、または引き分けの結果を格納する変数の初期値UNKOWNを宣言。

出力した回数をカウントする変数の初期値０で宣言。

InitSquare()関数、PreScreen()関数の順で関数を呼び出し、処理を行う。

全てのマスに「o」「x」が出力されるもしくは縦横斜めで３つ「o」「x」が出力されるまで回すループ

入力した数値が範囲内かどうかの判定結果を格納する変数の初期値をFALSEとする。

入力した数値のマスが既に入力されているかどうかの判定結果を格納する変数の初期値をFALSEとする。

・半角整数値1～３の入力を行うループ

入力の処理としてSquareNumber ()関数、NumRange()関数、MarkChecker()関数の順で関数を呼び出す。

NumRange()関数、MarkChecker()どちらもFALSEの場合、再度半角整数値1～３の入力を行うループの処理を行う。TRUEの時に半角整数値1～３の入力を行うループから抜け出す。

・PrintMark()関数で「o」「x」を含んだ三目並べ画面を出力する。

・Bingo()関数、SquareFull()関数の戻り値がUNKNOWNの時、再度全てのマスに「o」「x」が出力されるもしくは縦横斜めで３つ「o」「x」が出力されるまで回すループを行う。O\_WIN、またはX\_WIN、DROWのとき全てのマスに「o」「x」が出力されるもしくは縦横斜めで３つ「o」「x」が出力されるまで回すループが終了する。

・全てのマスに「o」「x」が出力されるもしくは縦横斜めで３つ「o」「x」が出力されるまで回すループのループ回数をカウントし偶数回「o」奇数回「x」を出力するように切り替える。

・GameResult()関数を用いて勝敗を表示し、PlayAgain()関数を用いてENDの時は三目並べの終了が出力されるまで回すループを終了し、CONTINUEの時は、再度三目並べの終了が出力されるまで回すループから始める。

## game\_ready.c

###### InitSquare()関数

引数：char型、「o」「x」を出力する要素数３の二次元配列のポインタ

戻り値の型：void

説明：配列の要素をすべて空白で初期化する。

###### PreScreen()関数

引数：char型、「o」「x」を出力する要素数3の二次元配列

戻り値の型：void

説明：「o」「x」を出力するための3X3のマスとそのマスごとに空の二次元配列、先攻後攻と「o」「x」が出力する。 表示画面…[3.1.2](#_[3×3のマスと先後を画面出力])

## get\_input.c

###### SquareNumber()関数

引数：char型、縦横の値を入力する一次元配列のポインタ、int型、「o」「x」を出力した回数を持つ変数

戻り値の型：void

説明：手番を出力し、縦と横のマス数を配列のポインタに入力する。

表示画面…[3.1.3](#_[縦横のマス数を入力])

###### NumRange()関数

引数：char型、縦横の値を入力する一次元配列

戻り値の型：[真か偽を表す列挙型](#_真か偽を表す列挙型)のTRUEまたはFALSEを代入した変数

説明：配列に入力した数字が半角整数値1～3の範囲内かどうかを判別し、範囲内であればTRUE、範囲外であれば[3.1.4](#_[入力した値は規定値内か])の警告文を出力しFALSEを返す。

###### MarkChecker()関数

引数：char型、縦横の値を入力する一次元配列、char型、「o」「x」を出力する要素数3の二次元配列

戻り値の型：[真か偽を表す列挙型](#_真か偽を表す列挙型)のTRUEまたはFALSEを代入した変数

説明：プレイヤーが指定した配列の要素番号に「o」「x」が既に入力されてあるとき[3.1.5](#_[既に入力されていないか])の警告文を出力しFALSEを返す、またされてないときはTRUEを返す。

## get\_output.c

###### PrintMark()関数

引数：char型、縦横の値を入力する一次元配列、char型、「o」「x」を出力する3の二次元配列のポインタ、int型、「o」「x」を出力した回数を持つ変数

戻り値の型：void

説明：プレイヤーが指定した配列の要素番号に「o」「x」を入力し、三目並べ画面と先攻後攻と「o」「x」を出力する。 表示画面…[3.1.6](#_[三目並べの画面のマスに「〇」「×」を出力])

###### Bingo()関数

引数：char型、「o」「x」を出力する要素数3の二次元配列、int型、「o」「x」を出力した回数を持つ変数

戻り値の型：[勝利を表す列挙型](#_勝利を表す列挙型)のO\_WINまたはX\_WINまたはUNKNOWNを格納した変数

説明：「o」が縦、横、斜めのどれかに三つ並んだか判定し並んでいるときはO\_WIN、「x」のときはX\_WIN、並んでいないときはUNKOWNを格納した変数を返す。

###### SquareFull()関数

引数：int型、「o」「x」を出力した回数を持つ変数

戻り値の型：[勝利を表す列挙型](#_勝利を表す列挙型)のDROWまたはUNKNOWNを格納した変数

説明：「o」「x」を出力した回数がCAPACITY\_FULLの時DROW、そうでないときはUNKNOWNを格納した変数を返す。

## get\_result.c

###### GameResult()関数

引数:列挙型、[勝利を表す列挙型](#_三目並べの続行を表す列挙型)

戻り値の型：void

説明：勝敗の情報を持つ変数が[勝利を表す列挙型](#_勝利を表す列挙型)のO\_WINまたはX\_WINまたはDROWのときそれぞれ結果の出力をする。 表示画面… [3.1.9](#_[勝ったプレイヤー名を出力])

###### PlayAgain()関数

引数：void型、なし 戻り値：[三目並べ続行を表す列挙型](#_三目並べの続行を表す列挙型)のENDまたはCONTINUEを格納した変数

説明：「もう一度遊ぶ…０/やめる…０以外」で0以外を入力するとENDを出力、０を入力するとCONTINUEを出力する。 表示画面…[3.1.10](#_[もう一度遊びますか])

## define.h

###### 真か偽を表す列挙型

|  |  |
| --- | --- |
| TRUE：真 | FALSE：偽 |

###### 三目並べの続行を表す列挙型

|  |  |
| --- | --- |
| CONTINUE：三目並べをもう一度遊ぶ | END：三目並べを終了する |

###### 勝利を表す列挙型

|  |  |
| --- | --- |
| UNKNOWN：勝敗の結果が出ていない。 | DROW：引き分け |
| O\_WIN：「o」の勝利 | X\_WIN：「x」の勝利 |

###### マスが埋まっているかを表すためのマクロ定義

|  |
| --- |
| CAPACITY\_FULL：マスがすべて埋まっている。 8 |
| ONE\_DIMENTION：一次元配列の要素数。　2 |
| TWO\_DIMENTION：二次元配列の要素数。　3 |